



ぬくもり通信

2023年7月号 NO. 55

新ホームページアドレス

令和5年7月3日 牛久精神保健福祉会発行

代表 板東 俊二 Tel/Fax 029(874)6745

<http://nukumorikai.starfree.jp/>



雨に打たれて色鮮やかな紫陽花は、晴れない気持ちを慰めるかの様に咲いています。

珍しい小桜紫陽花を、うっとり眺めました。

狭い庭に植えた2株づつの茄子、唐辛子、オクラ、トマト、ピーマンも花が咲き収穫が始まっています。又、今年も我が家の鈴虫が沢山(400匹ほど)生まれて、虫かごの中を元気に跳ね回っています。9月には、きれいな羽音を聴かせてくれることでしょう。

＜当面のスケジュール＞

日 時	内 容	会 場
7/15(土) 13:30～ 16:00	【定例会】 親亡き後の備え について懇談	中央生涯学習センター 調理実習室
7/29(土)	かっぱ祭り 踊りパレード	ハナミズキ通り。 障害連として参加 ★参加グッズのプ レゼント有。 参加者募集中♥
8 月	お休み	
9/16(土) 13:30～ 16:00	【定例会】 「地域において 精神障がい者・家族 が望む相談支援」県 南ブロック研修より	中央生涯学習センター 調理実習室

5月定例会の報告

日 時：5月20日(土) 13:30～
場 所：中央生涯学習センター 大講座室
内 容：「教えて本田先生“発達障害”相談の旅」DVD 視聴と懇談
参加者：家族会員8名と「広報うしく」を見て
9人の方が参加してくださいました。

DVDの内容は、5才の男児(3才の時に自閉症スペクトラムと診断)の悩みをお母さんが本田先生に相談した内容です。
以下に、相談内容とアドバイスを記載します。
(精神科医の本田先生のアドバイスを、の後に記載しています)

- ①片付けが出来ない。
☞どこに何が有るのが分かればよい。
自分なりにできていればよい。
大切なものの管理は、人に頼むと良い。
 - ②パニック症状を起こす。
☞ストレスを感じるバロメーターとしてとらえる。
 - ③過剰摘要(保育所や学校で良い子になって、家で爆発する)
☞良くしようではなく、「いまよりひどくしない」と言った方が上手くいくかも。
 - ④絵本読みをいつまでもやめない。(得意なこと)
☞切り替えが上手くいかない特徴があるので、絵本と関係のない話をする、止めるようだ。
 - ⑤幼稚園で、子供の読み聞かせはだめになっている。
☞全くダメではなく、ルールを作って(時間・冊数など)幼稚園で先生が子供の読む時間を持ってくれるか聞く。OKなら“先生が受け入れてくれた”感が持てる。
 - ⑥小学校に上がったなら、特別支援学級にした方が良いか迷っている。
☞関心のない授業は、歩き回ったり大きな声を上げたりと先生たちも困っているようですので、特別支援学級の方が自分のペースで学べると思います。
- ★とにかく発達障害は、「ゆっくり・焦らず・のんびり構えるのが大切です」とアドバイスがありました。

《参加者の感想・意見》

- 祖母Aさんの立場からお孫さんの心配
☞発達障害と診断されている。大きくなって社会に出た時が心配。
- 祖母Bさんの立場からお孫さんの心配
☞双子の孫がいるが片方が未熟児で生まれ、発達が遅れている。小学校で特別支援学級と普通学級に分かれるのではと心配。
- ご近所のお子さんのチックが心配で、話を聞きに来た。
- 息子さんが中学校から、発達障害が分かって、ずっと東京の専門学校に通わせ、大学も出た。就労したがうまく行かず家に引きこもっている。牛久で25年経つが、参考になるかと参加した。自分は80才になるが、

まだ働いている。年齢から言って自分がどうにかなってしまうのではと不安で仕方がない。

皆さんの深刻な悩みに、家族会員の体験談や、参加された方の中に、訪問看護ステーションの方や、いのちの電話の方が参加されていて、支援に繋がる方法などアドバイスを頂きました。ご参加有難うございました。



6月定例会の報告

日 時：6月17日(土) 13:30～
場 所：中央生涯学習センター 調理室
内 容：正しく知りたい！統合失調症
「鍵は早期発見」「回復を目指す！最新治療」
参加者：会員11名、訪問看護ステーション1名、
グループホーム職員1名 [計]13名

内容は、「鍵は早期発見」と「回復を目指す！最新治療」(精神科医が統合失調症の特性と最新治療の紹介)を15分づつ2本視聴した後、参加者の皆さんと感想や意見交換をしました。

《参加者の感想・意見》

- Aさん：気になったのは、統合失調症は遺伝するのか？体質は遺伝すると聞いたが、...
- Bさん：統合失調症の症状経過や治療方法もよく分かった。大切なのは幻聴・幻覚が有っても叱ってはいけないという事を知った。
- Cさん：娘は現在、DVDの医者の方の指示通り治療している。以前の病院ではなかなか薬が合わず「うつ病」と診断され、あまり変化が見られなかったが、医者を変えたら「統合失調症」と診断され、薬も変わり落ち着いてきた。少し周りが見えてきた様だ。余り変化が見られない時は、医者を変えても良いと思った。
- Dさん：ようやく息子がグループホームに行ってもいいと言い出した。何所がいいか探している。高齢なので7月定例会の親亡き後の事にも期待している。
- Eさん：息子は会話のキャッチボールが下手で

自分の中に入り込んでしまう。「ねえねえ」と言うと母親の方を振り向く。

B型就労施設に通っていたが通えなくなり、朝は8時半に起きられない。病院には行く。訪問看護は受けているが、気が乗らないと断っている。その時は母親が悩み相談に乗ってもらい気持ちが落ち着く。

Fさん：年なので親亡き後が心配。以前は仕事も何力所かしたが、今は家に引き籠っている。

Gさん：陽と陰の症状があって、薬を自分の判断で減らしたり、止めたりしてはいけないと分かった。

Hさん：息子はコロナの出始め頃から3年入院している。家に帰れなかったのが1度家に帰したい。

Iさん：息子は46才。統合失調症歴は20年位。何十回と職を変え、入院は3回位。治療はDVDの通り全部やった。生保も受けたが、偶然石屋の仕事が合って、自分から生保を止めた。様子を見ている。

訪問看護師さん：退院後は社会復帰を目指している方が多い。親が何とかしようと親密になる程、回復が遅れる傾向がある。

親は親、子は子と言う姿勢が大切。親御さんの方が早く亡くなるのですから。

病院のケースワーカー、看護師、Drと相談して退院を相談してはどうか。その子の性格を把握しているワーカーが多いですよ。

など、皆さんから感想やご意見がありました。

ご寄付ありがとうございます



- ・一般会員より合計 3,000円
(氏名と個々の金額は控えさせていただきます)
 - ・元賛助会員：鈴木登美代様 2,000円
 - ・賛助会員：中込和子様 500円
- ※温かいご支援有難うございました。

♥ 予約相談を受け付けています(会員のみ)

定例会の後、午後3時から就労支援事業所ほっとピア・ワークスに勤務の多田公樹氏(精神保健福祉士・社会福祉士・ピアサポート専門員)が相談役として参加しております。
定例会毎に2名迄の予約を受け付けます。
(無料です)

【相談予約】副代表：遠藤まで
TEL/FAX 029-873-0080